

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		10,799	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		10,799

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
温室効果ガス総排出量	10,230	t-CO ₂	9,923	t-CO ₂	10,799	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 5.6	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	令和 8 年度		
原単位当たりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

と畜頭数が4.7%増加しており、と畜で使用する設備の稼働時間が増えたことにより、エネルギー使用量が増加したものと考えられる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・空調のリモコンに冷房28℃暖房19℃と表示し、温度管理を徹底する。 ・空調のスケジュール管理を徹底する。 ・中間季等において、外気を利用した換気運転を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機リモコンへの設定温度の貼付を継続した。 ・共用エリア等の空調機運転を中央監視室で集中管理した。 ・外気温度の低い中間期に外気導入の換気運転を行った。 ・管理課事務室窓際にグリーンカーテンを作り、省エネに努めた。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・間引き点灯、こまめな消灯などを呼びかける。 ・照明プログラムのスケジュールを見直す。 ・施設内照明のLED化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する ・令和6年度、南部市場本館棟2階照明LED化工事予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下等の照明器具で間引き点灯を行った。 ・本館棟2階照明器具について、LED化の工事を行った。
省エネルギー・省資源の行動の実践・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ階段を使用するよう呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・機会を捉えて呼びかけを行った。
自動車利用における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不要不急の公用車利用を控える。 ・毎月8日は事務連絡車は使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車利用の用件を調整して使用の抑制に努めた。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

- ・会議用資料の両面または裏面印刷、少量化を徹底した。
- ・文書決裁を電子かすることにより、紙の使用枚数を抑制した。
- ・使用済用紙（裏紙）の再利用により、紙の使用枚数を抑制した。
- ・グリーン購入ガイドラインにしたがって購入した。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

- ・やむを得ない場合を除き、事務連絡車の使用を控えた。